

日系サポーター体験記④

日系社会研修（多文化共生推進/日系協力型）
通称「日系サポーター」研修
「日系ブラジル人とのカウンセリングを通じた
多文化共生」コース

帰国研修員 サントスクレーベルさん（ブラジル）

活動期間: 2022年10月～2023年3月

活動先: 豊橋市国際交流協会（愛知県）



.....

サントスさんは5カ月間、日系ブラジル人が多く住む愛知県豊橋市にある豊橋市国際交流協会で、日本語・ポルトガル語を使った日本語指導とカウンセリング支援や広報・文化活動のサポートを行いました。

サントスさんはブラジルで日本語教師としてお仕事をしているということですが、日本語の勉強を始めたきっかけを教えてください。

僕が日本語の勉強を始めたきっかけは歌手の中島みゆきさんです。

地元・サルバドール州は観光地で、ある日、道に迷った日本の観光客を案内したところ、お礼にカセットテープをもらいました。聴いてみると日本の音楽が流れていて、その声に聞き惚れてしまいました。それが、中島みゆきさんの楽曲でした。どうしても歌詞の意味を理解したくて、それをきっかけに日本語の勉強を始めました。

日系サポーター研修に参加してみたいと思ったきっかけは何でしたか？

ブラジルには大きな日系社会がありながらも、多くの日系人は日本語への関心が薄れてきていて、学ぶ機会も少ないのではないかと思います。また、出稼ぎなどを目的に来日して、日本に長く住んでいても日本語を身に着けることが難しいようです。そういった方々に日本語を教える支援がしたいと思いました。

豊橋市国際交流協会で5カ月間、
どのような活動を行いましたか？

主に日本語教室での指導と、ブラジル人向けカウンセリングのサポートを行いました。日本語教師としての経験を活かして、外国人住民・留学生向けの日本語教室で指導をしました。カウンセリングでは、ブラジル人を対象に日常の困りごとの相談を受け付ける、カウンセラーと相談者の間に入って通訳をする、といった支援をしました。他にも、国際交流協会が実施する文化活動への参加や、PR活動のお手伝いもできました。



今回、日系ブラジル人が多く住む地域で活動をしてみて、特にサポート出来たことや、新たな発見はありましたか？

日本語教室での指導を通して、外国語として日本語を学ぶ生徒に直接教える機会があったことが特に勉強になりました。また、研修期間に新しく知った日本文化を生徒たちに共有する機会にもなりました。地域の公立学校への訪問も、在日ブラジル人社会の現状をより深く知るきっかけとなりました。

中にはブラジルから来たばかりの生徒たちが、日本語を学ぶ機会がないまま学校で他の生徒たちと同じ教室で授業を受けていて、とても驚きました。そのような生徒たちのためにどのような協力ができるか、いかに分かりやすく日本語を教えることができるか考えさせられました。

ブラジルへ帰国してから、日本での経験を活かしてどのような活動をしてみたいですか？

今回の日本語教室での経験や学校見学を通して、外国語として日本語を学ぶ方のために分かりやすく学べる工夫が課題だと感じました。ブラジルで日本語を教え続けるために、文法マニュアルなどを作成できれば良いのではないかと考えています。



日系サポーターとは

日本国内の日系人集住都市に中南米から日系人をJICA研修員として受け入れ、保育園・幼稚園・自治体・NGO・企業などで研修を受けながら、在日日系人のために日本語/母国語サポーター、ソーシャルワーカー、相談役といった役割も果たし、在日日系人のサポート、日系人集住都市の多文化共生・地域創生に貢献する研修です。